

東京クリニック

医薬品情報

TEL 03-5287-5532

Web <http://www.tokyo-clinic.jp>

Mail info@tokyo-clinic.jp

ニコチン酸製剤

ナイクリン錠

ナイクリン散

Nyclin[®] tab. Nyclin[®] powder

(ニコチン酸錠・散)

貯法：室温保存

使用期限：外箱に表示の使用期限内に使用すること。

(使用期限内であっても開封後はなるべく速やかに使用すること。)

	錠	散
承認番号	(47AM) 2840	(島薬) 8915
薬価収載	1965年11月	1958年4月
販売開始	1957年11月	1957年11月
再評価結果	1977年5月	

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

- (1) 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2) 重症低血圧又は動脈出血のある患者
[血管拡張作用により、更に血圧を低下させるおそれがある。]

【用法・用量】

ニコチン酸として、通常成人1日25～200mgを経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 消化性潰瘍又はその既往歴のある患者
[大量投与により、消化性潰瘍を悪化させるおそれがある。]
- (2) 肝・胆のう疾患又はその既往歴のある患者
[大量投与により、胆汁うっ滞と肝細胞配列異常、線維組織の結節形成を伴う肝障害が引き起こされるおそれがある。]
- (3) 耐糖能異常のある患者
[大量投与により耐糖能が低下するおそれがある。]

2. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
α遮断型降圧剤 塩酸プラゾシン等	血管拡張作用が増強されるおそれがある。	相互に血管拡張作用を増強する。
HMG-CoA還元酵素阻害剤 プラバスタチン ナトリウム等	外国において、急激な腎機能悪化を伴う横紋筋融解症があらわれやすいつの報告がある。筋肉痛、脱力感の発現、CK(CPK)上昇、血中及び尿中ミオグロビン上昇を認めた場合には投与を中止すること。	危険因子：腎障害患者
経口血糖降下剤 グリベンクラミド等 インスリン	血糖降下作用を減弱するおそれがあるので、併用する場合には、血糖値その他患者の状態を十分観察しながら投与すること。	肝臓でのブドウ糖の同化抑制による。

【組成・性状】*

ナイクリン錠

成分・含量 (1錠中)	日本薬局方・ニコチン酸 50mg
添加物	乳糖、バレイシヨデンブ、アラビアゴム、タルク、ステアリン酸マグネシウム
剤形・色調	白色の錠剤
外形	
大きさ	直径 7.0 mm 厚さ 2.4 mm 重量 130 mg

ナイクリン散

成分・含量 (1g中)	日本薬局方・ニコチン酸 100mg
添加物	乳糖、バレイシヨデンブ
剤形・色調	白色の散剤

【効能・効果】

- (1) ニコチン酸欠乏症の予防及び治療(ペラグラなど)
- (2) ニコチン酸の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際の補給
(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦、はげしい肉体労働時など)
- (3) 下記疾患のうちニコチン酸の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合
 - ・口角炎、口内炎、舌炎
 - ・接触皮膚炎、急・慢性湿疹、光線過敏性皮膚炎
 - ・メニエル症候群
 - ・末梢循環障害(レイノー病、四肢冷感、凍瘡、凍傷)
 - ・耳鳴、難聴

(上記(3)に対して、効果が無いのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。)

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 ^{注)}	発疹、口唇腫脹、咳嗽、ショック様症状
末梢血管拡張作用	顔面・皮膚の紅潮、頭部・四肢の熱感、蟻走感等の感覚異常、痒痒感、発汗亢進
肝臓	黄疸、血清トランスアミナーゼ値の上昇、BSP 排泄遅延
代謝異常	耐糖能低下(長期・大量投与) 高尿酸血症(長期・大量投与)
消化器	口渇、悪心・嘔吐、胃部重圧感、腹痛、下痢
その他	頭痛、頭重、眩暈、胸内苦悶、動悸

注) 投与を中止すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 適用上の注意

薬剤交付時: PTP 包装の薬剤は PTP シートから取り出して服用するよう指導すること。
(PTP シートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。)

【薬効薬理】

- ニコチン酸は生体内で NAD (nicotinamide adenine dinucleotide)、NADP (nicotinamide adenine dinucleotide phosphate) に生合成され種々の脱水素酵素の補酵素として生体内の酸化還元反応に関与している。^{1, 2)}
- ニコチン酸はヒトに投与した場合に、明らかな末梢血管拡張作用が認められている。^{2, 3)}

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名: ニコチン酸

(Nicotinic Acid)

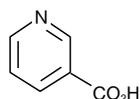
化学名: Pyridine-3-carboxylic acid

分子式: $C_6H_5NO_2$

分子量: 123.11

融点: 234 ~ 238°C

構造式:



性状: ニコチン酸は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、わずかに酸味がある。水にやや溶けにくく、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルに極めて溶けにくい。水酸化ナトリウム試液又は炭酸ナトリウム試液に溶ける。

【包装】

ナイクリン錠 (50 mg) 100 錠 (PTP)

1,000 錠 (PTP)

ナイクリン散 (10%) 500 g

【主要文献】

- 1) 荒川雅男: 新ビタミン学, 日本ビタミン学会, 1969, P.286
- 2) 田中伸一: ビタミン学, 金原出版, 1956, P.518
- 3) 宮尾定信ほか: 新薬と臨牀, 6, 1047(1957)

【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】**

トーアエイヨー株式会社 信頼性保証部
〒330-0834 さいたま市大宮区天沼町2-300
電話 (048) 648-1070

**



製造販売

トーアイヨー株式会社

福島県福島市飯坂町湯野字田中1番地

**



販売

アステラス製薬株式会社

東京都板橋区蓮根3丁目17番1号